



しずくちゃん

下水道公社だより

—下水道 つないで創ろう うつくしま—



すいてきくん

2006年1月号

目次

新年のご挨拶

『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内
平成17年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果
『平成17年度維持管理研修会』を終えて
広報資材支援事業『多言語リーフレット』のご案内

新年のご挨拶



財団法人 福島県下水道公社
理事長 蛭田 公雄

当下水道公社は、下水道に関する知識の普及・啓発を図るとともに、福島県が設置する流域下水道の適正な維持管理業務を受託することにより、県又は市町村

平成17年は、県の「公社等外郭団体への関与等に関する指針」に基づき、公社等の主体的、自立的な経営を促進するための点検評価が実施され、当公社もマネジメントサイクルの確立、主体的・自立的な公社等経営の確立、環境変化を踏まえた個別事業等の見直し等の提言をいただきました。

が実施する下水道事業の振興を図ることを目的として、昭和63年4月に設立されました。

従来からも、厳しい社会経済状況のなか、効率的な事業執行を行ってきたところですが、これらの課題を踏まえ、より一層の経営の効率化を目指すとともに、施設の適切な維持管理、下水道普及率向上のための各種普及啓発活動等の充実強化に努めて参りたいと考えております。

業務の中心は、福島県より受託している阿武隈川上流流域下水道等の終末処理場（県北・県中・あだたら・大滝根の各センター）及び県中・県南地域流域下水汚泥処理施設（汚泥溶融）の維持管理業務であり、また、「下水道まつり」、「快適生活下水道フォーラム」等下水道の接続率（水洗化率）の向上や下水道整備の気運高揚を図るための普及啓発事業、下水道に関する各種調査・研究、下水道技術者の養成、公共下水道事業等相談業務及び設計・監理等の受託業務、下水道排水設備工事責任技術者資格認定業務など多岐にわたる事業を展開してまいりました。



『市町村技術支援事業（設計等受託業務）』のご案内

平成 16 年度末現在の全国の下水道処理人口普及率は平均で 68.1%であるのに対し、福島県は平均で 41.0%と全国平均を大きく下回り、全国では 38 位にランクされる低い普及率です。

福島県の下水道普及が遅れた原因としては、他県に比べ下水道の歴史が比較的浅いこと、広い県土面積を有し集落が散在していること等によるものが原因と考えられています。しかし、我々県民の貴重な財産である自然豊かな県土を守り、快適な生活環境を築くためには、下水道の普及促進が避けて通れない重要な課題となっています。

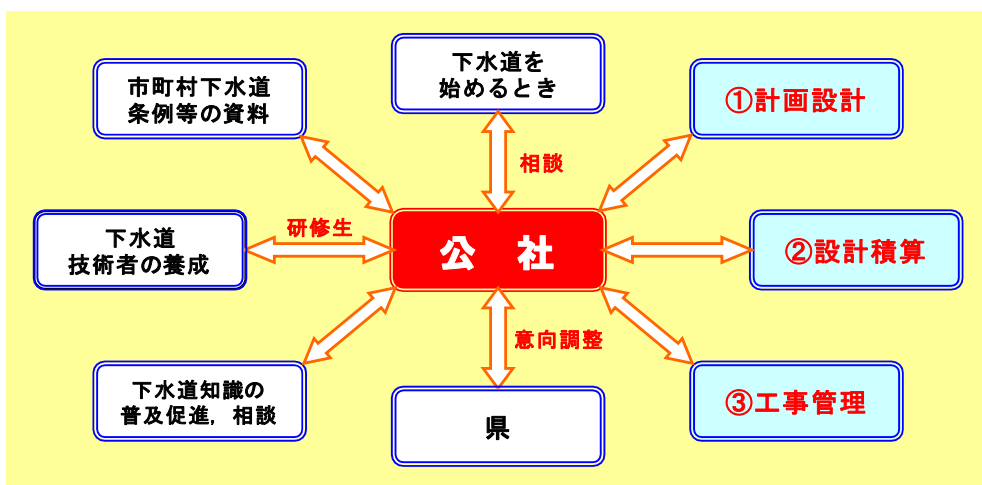
市町村が下水道施設を整備しようとする場合、担当職員の確保が問題となります。処理場、ポンプ場、管路施設を建設するためには、土木、建築、機械、電気等の一定の専門技術を有する職員の配置が必要となりますが（下水道法第 22 条）、その様な職員の確保はなかなか大変なのが実情のようです。

下水道公社では、執行体制が不十分な自治体を技術的な側面から支援するため、下記の計画段階から工事管理に至る総合的な技術支援事業を実施し、市町村の皆様をサポートいたします。

- ①**計画設計**：関係機関との協議や他計画との整合を図り、円滑な計画設計を実施します。
- ②**設計積算**：常に最新の積算資料や国県等の各種基準に準拠した適切な設計積算を実施します。
- ③**工事管理**：各種仕様書等に基づき、工事の出来形、品質、工程管理等の他、変更設計も実施します。

この他、下水道公社では技術支援事業の一環として「**下水道事業相談室**」を開設しておりますので是非ご利用ください。

下水道事業の総合的な技術支援の一環として
下水道施設設計等を受託いたします



平成 17 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験結果

7月号でご案内の「平成 17 年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」は、11月 21 日に『ビッグパレットふくしま』にて予定通り実施いたしました。

試験結果については 12 月 15 日、合否結果を受験者へ送付するとともに、当会社 HP への合格者受験番号の掲載を行いました。

試験結果は以下の通りです。

受験者数：461名 (603)
 合格者数：180名 (295)
 合格率：39.0% (48.9%)
 ※ () 内は H16 年度結果

平成 17 年度下水道排水設備工事責任技術者認定試験結果

受験者数	合格者数	合格率
461	180	39.0%

試験実施日：平成 17 年 11 月 21 日

合格者受験番号									
1001	1004	1007	1009	1010	1014	1015	1019	1020	1022
1023	1024	1027	1028	1030	1031	1038	1039	1042	1046
1047	1052	1055	1056	1058	1065	1066	1073	1074	1080
1081	1086	1087	1090	1092	1096	1098	1100	1102	1103
1106	1108	1109	1111	1115	1116	1121	1122	1131	1134
1136	1139	1144	1147	1148	1150	1151	1153	1156	1161
1164	1170	1172	1177	1178	1183	1186	1187	1189	1190
1191	1193	1196	1197	1198	1208	1212	1215	1222	1226
1227	1229	1230	1236	1238	1239	1240	1244	1245	1246
1250	1257	1259	1263	1264	1265	1269	1272	1274	1275
1277	1284	1285	1287	1288	1291	1293	1295	1301	1311
1312	1313	1316	1317	1319	1322	1325	1328	1334	1337
1339	1341	1342	1344	1346	1347	1354	1359	1360	1369
1370	1371	1373	1375	1377	1379	1380	1383	1384	1385
1388	1389	1392	1400	1401	1402	1404	1405	1406	1408
1409	1411	1412	1418	1421	1422	1425	1427	1429	1431
1434	1436	1440	1441	1449	1451	1452	1461	1465	1467
1468	1478	1481	1484	1488	1492	1493	1494	1495	1496

『平成 17 年度維持管理研修会』を終えて

平成 17 年度維持管理研修会については、11 月 29 日・郡山市勤労福祉会館にて 55 名のご参加をいただき無事終了いたしました。

本年度は、(財)下水道業務管理センターよりご紹介をいただきました『下水道アドバイザー』の 2 氏によります、

- 「管渠の維持管理」 (福田寛允氏)
- 「ディスポーザの機能と評価について」 (内田信一郎氏)

の 2 講演を行いました。

研修会終了後、ご参加の皆様よりご回答いただきましたアンケート結果を参考とし、今後ともより充実した研修会を実施していきたいと思っております。



広報資材支援事業『多言語リーフレット』のご案内

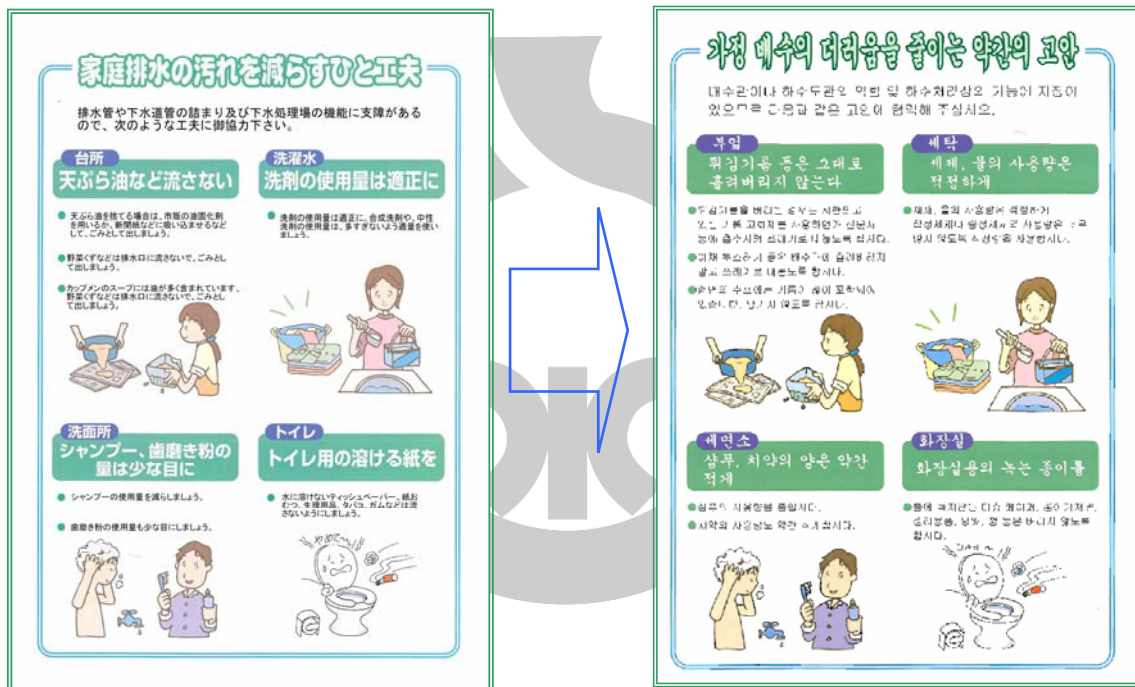
当会社では市町村等が実施する下水道事業普及啓発活動を支援することを目的として、『広報資材支援事業』を実施しております。

その支援資材については「下水道普及啓発実行連絡委員会」等でのご意見を参考に順次整備・充実を図っているところであります。

本年度につきましては『日本語を母国語としない住民の方へ、下水道利用に関して注意喚起するようなものはないか』とのご意見をいただき、下記の下水道施設の適正な利用を促す多言語リーフレット（英語・中国語(簡体)・ハングル・タガログ語）を製作いたしました。

ご利用については申請書の提出をお願いするのみで無償提供となっております、皆様のご利用をお待ちしております。

また、普及啓発リーフレットの提供、展示用パネル・普及啓発ビデオの貸し出し等も引き続き実施しておりますのでご活用ください。



財団法人 福島県下水道公社

〒960-8103 福島市舟場町2番1号 福島県庁舟場町分館3F

TEL 024-524-3510(代)

FAX 024-524-3513

Homepage: <http://www.fspc.or.jp>

E-mail: kikakukanri@fspc.or.jp

※本誌の発行については、業務部企画管理課までお問い合わせください。

